取石中学校　ＴＭ担当　１１月２１日（金）　　Ｎｏ．２３

取中Ｔの林通信

国語 数学 社会 理科 英語 音楽 美術 技・家 保・体

来週水曜日から、２学期期末テストが実施されます。３つある学期中最も長い学期の最後のテストです。今年一番の頑張りをもって、テストに臨んでください。流行性感冒には十分に気をつけ、明日から始まる３連休を是非とも、目標達成のために有意義に過ごしてください。頑張れ取中生！！

■研修のご報告（豊中市立第１４中学校）

＜ＴＭ担当の感想／気づき＞

・中学校区の１５歳がめざす子ども像と、９年間に身に着けて欲しい力を、中学校区の小中学校で考え、取り組んでいるところがすごくよかった。小中連携がしっかりとでき、９年間を見通した、教育計画ができ、指導の一貫性をより高めることができると感じた。
・中学校区で同じ教授に年間（複数年）を通して指導していただいていた。
・豊中１４中版の『学びの三撃』、取中版『授業の三撃』があり、同様の取り組みがあった。
・班活動においては、生徒たちが仲間の意見や考えに対して、しっかりと聞くだけでなく、『うなずき』をするなど、聞く姿勢も良かった。（→現在取り組んでいる「ＴＯＲＩタイム」が今後活きる！）
・思考ツールから思考ツールへの連続性（ベン図からのピラミッドチャートからのＹチャート）など、今後の参考になった。

■研修のご報告（全国中学校社会科教育研究大会　大阪大会）

先週金曜日（１１月１４日）に取石中学から、２名が全中社大阪大会（地理的分野）のスタッフとして参加させていただきました。

地理的分野では、大阪市と堺市の社会科の先生方の実践発表がありました。スタッフとして参加させていただきましたが、一社会科教員として、学ぶことができました。

＜感想／気づき＞

・授業で（資料の読み取りなど）探究を重ねることで、「もしかしたら○○では？」と自己に問いかけることで、社会と自分とのつながりを問い続けられると感じた。
・社会的事象を自分ごととしてとらえる積み重ねの大切さに改めて気づかされた。
・今回の実践発表では、『問いと資料で授業をつくる』という１つの型を学ぶことができた。
・『問い続けること＝未来へつながる』という授業構成を、年間を通して実践することの大切さと各学校や生徒の実態によって、変化をもたせることも大切だと感じることができた。

☆研修を受ける＝一種の『まねぶ』であることを痛感した、この数週間でした！